

チャペル週報

No.23

2018.11.19 ~ 11.22

恵みの業をもたらす種を蒔け
愛の実りを刈り入れよ。新しい土地を耕せ。
主を求める時が来た。
ついに主が訪れて恵みの雨を注いでくださるように。
(ホセア書 10章12節)



西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

11月19日(月) 神 賛美歌⑨ 加納 和寛(神学部准教授)
経 難民について考える
吉山 昌(認定NPO法人難民支援協会 定住支援・広報担当ディレクター兼事務局長)
人 音楽チャペル ハンドベルクワイア
理 東 よしみ(神学部准教授)
聖和 聖書物語「ゲッセマネの祈り」

11月20日(火) 神 小川 晃司(経営戦略研究科事務職員)
文 音楽チャペル ハンドベルクワイア
社 「いのち」について考える④ 沖村 裕史(日本基督教団 塚口教会牧師)
法 音楽チャペル ゴスペルクワイア "P.O.V."
経 人間を考える③ 大高 博美(経済学部教授)
商 Ruth M. Grubel(社会学部教授、宣教師)
国 献血週間をおぼえて 献血実行委員会
理 宗教総部
総 赤兎 正清(日本基督教団 花の峯教会牧師)
教 音楽チャペル チャペルオルガニスト

11月21日(水) 院 Chapel in English Andreas Rusterholz(文学部宗教主事)
神 行澤 平和(神学研究科M2)
社 音楽チャペル バロックアンサンブル
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
経 人間を考える④ 田村 翔平(経済学部専任講師)
商 田淵 結(院長)
人 嶺重 淑(宗教主事)
理 前川 裕(宗教主事)
総 村瀬 義史(宗教主事)
教 音楽チャペル 聖歌隊

11月22日(木) 神 キリスト教音楽に触れよう⑤ -収穫感謝の賛美歌を歌おう-
水野 隆一(神学部教授)
文 田淵 結(院長)
社 「いのち」について考える⑤ 中野 康人(社会学部教授)
法 音楽チャペル バロックアンサンブル
商 宗教総部
国 Chapel in English "Music therapy and mindfulness"
Kim Aeri(日本音楽療法学会認定音楽療法士)
総 夏目 裕(吉岡記念館事務室次長)
聖和 宇都宮 正人(聖和短期大学非常勤講師)

手を差し伸べられる人

Julia 碧 Thrasher

Thanksgiving. アメリカでは多分イースターやクリスマスに次いで大事にされている日ではないかと思います。この日には家族親戚が集まり、一緒に食事をしながら様々なことへの感謝をする日です。一緒にいられる感謝、食べ物が与えられることへの感謝。普段の忙しきで中々感謝の心を持つ余裕がありませんが、この時はあらためてゆっくりと感謝できる事柄を思い浮かべながら家族団欒を楽しみます。

学校ではこのThanksgivingの由来は早い時期から習います。信仰のためにアメリカに渡ったイギリス人が新天地で右も左もわからない中厳しい冬を過ごしましたが、そのあと優しい先住民に農作物の育て方などを学び、無事新しい場所に根付くことができたことを幼稚園の頃から習います。文化も言葉違う人同士が仲良く一緒に暮らす、これがアメリカの精神だ、という感じで習ったと思います。

だんだんと学年があがるに従ってより深い事情を習って行くと、また見えてくるものが変わっていきました。イギリスから渡った人たちの多くは商人だったため、家作りから食物の確保や育て方は全くと言っていいほど知らなかったらしく、イギリスから持ってきた苗木や種もほとんど枯らしてしまったそうです。最初の冬は全体の半数近くが亡くなり、先住民の助けがなければ生き延びることは本当に難しかったと思います。

しかし、そのように自分たちを救ってくれた先住民をどんどん西へと追い出し、結局白人中心の社会を築いて行きます。その人たちがいなければ自分たちは生き延びることが無理だったにも関わらず、考え方や文化が違うということで結果的に排除したのです。もし先住民が同じような考えで動いていたら、最初のイギリスからの集団は全滅していたでしょう。そして今のアメリカはどうなっていたでしょう。

今ある生活に感謝するこのThanksgivingの時期にもう一度立ち止まって考えたいです。「行ってあなたも同じようにしなさい。」イエス様がよいサマリア人のたとえで言われる言葉です。世の中の情勢が不安定な中、色々な考え方や文化を持った人と共に平和に暮らせることに感謝し続けられるよう、自分も手を差し伸べられる人になりたいと思います。

(中学部教諭・宣教師)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。【どなたでもご自由にご参加ください。】
(17:50～18:20 1405教室)

11月主題:「真の共生社会を目指して」

22日(木) 舟木 讓(宗教総主事)

29日(木) 嶺重 淑(大学宗教主事)

●関西学院会館の日曜礼拝

授業・試験期間中の第二・第四日曜日(原則)に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。
【どなたでもご自由にご参加ください。】

11月25日(日) 10:00～11:00

関西学院会館ベーツチャペル

●クリスマスツリー点灯式-アドベントを迎えて-

アドベント(待降節)に入った翌日、関西学院はクリスマスツリーに点灯し、クリスマス準備を始めます。どなたでもご自由にご参加ください。(雨天決行)

と き:2018年12月3日(月)

ところ:西宮上ヶ原キャンパス 中央芝生 18:30～19:00

神戸三田キャンパス アカデミックコモنز前 18:30～18:50

西宮聖和キャンパス 2号館前 18:30～19:00

●第215回ランバス演奏会

歌とリユートによる「古き良き英国の愛の歌を集めて」

演 目:愛は甦る、真の愛、音楽が愛の糧なら、泣かせてください、ほか

演奏者:平井満美子/ソプラノ 佐野健二/リユート

と き:12月4日(火)17:00開演(18:10終演予定)

ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

<入場無料>

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリユート歌曲のスペシャリストです。ランバス演奏会には1998年から毎年イースターとクリスマスシーズンに出演しており今年で20年目を迎えます。

●オルガン音楽の泉 2018 Fall semester

パイプオルガンの響きに想うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第30回 12月5日(水) 桑山 彩子(京都カトリック河原町教会オルガニスト)

いずれも12:50～13:20[開場12:40予定]

ところ:関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催:宗教センター

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスイベントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

と き:12月21日(金)17:30開場 18:30開始 20:50終了予定

ところ:ザ・シンフォニーホール(大阪市北区大淀南2-3-3)

参加費(入場料):2000円 当日座席指定(16:30より座席券と交換)

チケット販売:

* 関西学院大学生協(TEL 0798-53-5150)

* チケットぴあ(TEL 0570-02-9999) Pコード 130-125

* ぴあ取扱いのコンビニエンスストア:サークルK、サンクス、セブン・イレブン

* ザ・シンフォニーチケットセンター(ザ・シンフォニーホール内 06-6453-2333)

お問合せ:関西学院宗教センター(TEL 0798-54-6018)

主催:関西学院 共催:関西学院後援会・関西学院同窓会